

幸せであるために重要だと思うことについて

トップ5 (10～30歳代)	順位	トップ5 (40～80歳代)
家計の状況 (所得・消費) (58.9%)	1	健康状態 (81.0%)
健康状態 (57.8%)	2	家計の状況 (所得・消費) (55.8%)
家族関係 (39.3%)	3	家族関係 (39.8%)
精神的なゆとり (36.0%)	4	精神的なゆとり (29.0%)
就業状況 (仕事の有無・安定) (24.7%)	5	趣味・社会貢献などの生きがい (15.4%)

幸せだと感じる理由について

- 環境が良く、静かで落ち着く。
- 不自由なく住みやすい。
- 医療施設が多くあり、病院が近い。
- 公園が多い。
- 子どもの医療費の補助がある。
- 大きな自然災害が少ない。
- 事件事故が少なく、治安が良い。
- 子どもが元気に育っている。
- 新鮮な野菜が食べられる、美味しい水が飲める。
- 趣味やボランティアを通して知り合った友人たちと交流できる。

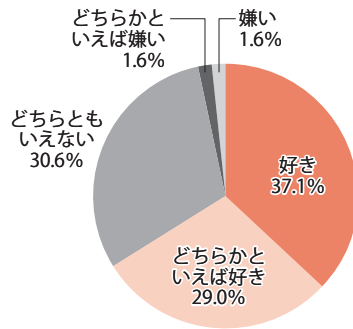
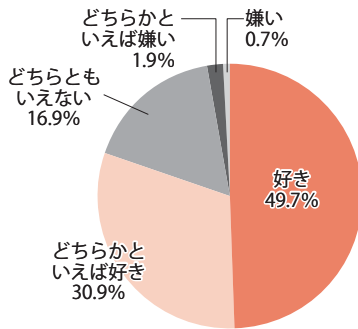
■ 調査の概要

対象	市内中学校4校 石橋高校、小山北桜高校の第2学年
手法	学級毎に教室にて配布・回収
実施時期	平成26年7月
回収数	988名 (中学生580名、高校生408名)

(2) 中学生・高校生
アンケート結果
概要

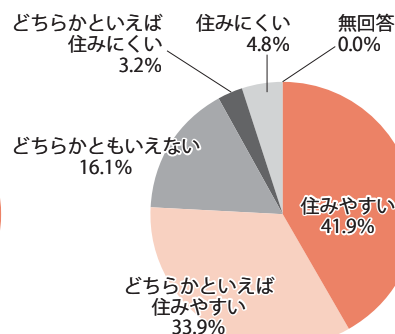
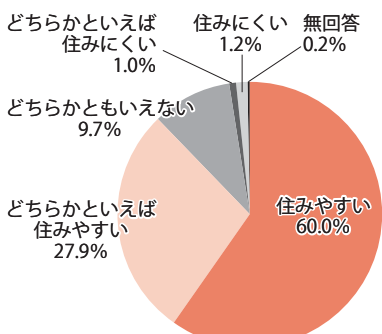
第2次総合計画の策定に当たり、市内の中学校4校及び石橋高校、小山北桜高校の第2学年の生徒を対象に、まちづくりに関するアンケートを実施し、まちづくりへの関心、下野市に感じていること、下野市の将来像、下野市への居住意向について調査しました。その概要をお知らせします。

下野市のことをどう思うか



「好き」「どちらかといえば好き」が合せて中学生80.6%、高校生66.1%となっています。

下野市の住みやすさについて



住みやすさについては、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」が合わせて中学生87.9%、高校生75.8%となり、いずれも高い結果となっています。